



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月6日

上場会社名 株式会社 淀川製鋼所
コード番号 5451 URL <http://www.vodoko.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河本 隆明
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 大隅 康令
四半期報告書提出予定日 平成25年11月7日 配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 06-6245-1113
平成25年12月2日

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	75,486	4.6	3,267	27.1	4,297	39.4	1,132	209.3
25年3月期第2四半期	72,163	△6.7	2,571	△44.2	3,082	△39.9	366	△82.7

(注)包括利益 26年3月期第2四半期 8,411百万円 (709.7%) 25年3月期第2四半期 1,038百万円 (△24.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	7.21	7.19
25年3月期第2四半期	2.30	2.29

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	200,351	153,932	69.2
25年3月期	187,804	147,049	71.0

(参考)自己資本 26年3月期第2四半期 138,614百万円 25年3月期 133,413百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	2.50	—	5.00	7.50
26年3月期	—	5.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	158,000	12.0	6,200	70.8	7,100	43.5	3,100	23.2	19.77

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	184,186,153 株	25年3月期	184,186,153 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	27,623,386 株	25年3月期	26,402,891 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	156,941,913 株	25年3月期2Q	159,206,677 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、着実な回復軌道をたどっており、期初から堅調に推移している個人消費、公共投資や住宅を含む建築着工に加え、鉱工業生産や機械受注などにも改善の動きが見られております。

世界経済では、中国をはじめとする新興国の成長は一進一退のやや不安定な状況ながら、欧州の景気後退に底入れのきざしが見えはじめており、米国経済も量的金融緩和の縮小予測などから一時的な足踏みが見られるものの、引き続き緩やかな回復を示しております。

鉄鋼業においては、中国鉄鋼業の供給過剰を背景に海外市場の需給は引き続き軟調となっておりますが、国内市場では、円高の是正に伴い安価輸入材の影響が緩和するとともに、高水準を維持している建築着工や持ち直しつつある機械受注などを背景に鉄鋼内需は堅調に推移しております。

このような環境下にあつて当社グループは、積極的な販売とコストダウンに努めるとともに、国内市場では需給が改善しつつあるなか、当社鋼板関連商品の価格改定について顧客のご理解を得られるよう努めてまいりました。また、7月10日に発生しました当社市川工場における冷間圧延機の火災に対しては、その損失を最小限とすべく、調達・生産・販売においてグループ総力を挙げて対応するとともに、設備の早期復旧に努めました。

この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高754億86百万円（前年同期比33億23百万円増）、営業利益32億67百万円（同6億95百万円増）、経常利益42億97百万円（同12億15百万円増）、四半期純利益11億32百万円（同7億66百万円増）となりました。

なお、中国の子会社である淀川盛餘（合肥）高科技鋼板有限公司（以下、Y S S社という。）の連続式溶融めっき設備及び連続式塗装設備は、2013年6月より稼働を開始しております。

セグメントの業績は以下のとおりです。

①鋼板関連事業

売上高は706億57百万円、営業利益は37億8百万円であります。

鋼板業務については、円高の是正に伴い輸出の採算が改善するとともに、国内では安価輸入材との価格競争が緩和した結果、建材向けのめっき商品などの販売量が回復しました。また、国内一般流通向けでは前下期で伸長した販売量を維持し前年同期比で増加しました。台湾の子会社、盛餘股份有限公司（S Y S C O社）は、選別受注による採算維持に努めたことから輸出の販売量が減少し減収となりましたが、台湾国内を含むアジア市況が期初を中心に持ち直したことなどから損益は改善しました。

建材業務では、建材商品のルーフの販売量が増加したことなどから、増収となりました。

②ロール事業

売上高は13億5百万円、営業損失は4億25百万円であります。

国内、輸出いずれの販売量も減少したことなどから、減収となりました。

③グレーチング事業

売上高は15億92百万円、営業利益は23百万円であります。

民間案件を中心に需要家への積極的提案営業に努めたことに加え、高機能商品の販売量も徐々に伸びていることなどから、増収となりました。

④不動産事業

売上高は4億9百万円、営業利益は3億7百万円であります。

賃貸用不動産の効率的運用に努めましたが、減収となりました。

⑤その他事業

売上高は15億21百万円、営業利益は1億96百万円であります。

運輸・倉庫業の売上増加などから増収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末より42億22百万円増加し1,049億30百万円となりました。主な要因としては、受取手形及び売掛金の増加(33億4百万円)、原材料及び貯蔵品の増加(23億47百万円)、商品及び製品の増加(8億7百万円)、現金及び預金の減少(28億35百万円)などとなっております。

固定資産は前連結会計年度末より83億24百万円増加し954億20百万円となりました。Y S S社の工場建設とタイの子会社であるPCM PROCESSING (THAILAND) LTD. (以下、P P T社という。)の連続式塗装設備の新設などに伴い、有形固定資産のその他に含まれる建物が増加(40億20百万円)し機械装置が増加(38億86百万円)する一方で建設仮勘定が減少(45億46百万円)しております。また、P P T社の連続式塗装設備の新設に伴い有形固定資産のその他に含まれるリース資産(有形)が増加(12億97百万円)しております。その他の要因としては株価上昇の影響から投資有価証券が増加(31億56百万円)しております。

以上の結果、連結総資産は2,003億51百万円となり、前連結会計年度末と比べ125億46百万円増加しました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末より26億30百万円増加し291億54百万円となりました。主に支払手形及び買掛金の増加(28億81百万円)等の要因によるものです。

固定負債は前連結会計年度末より30億33百万円増加し、172億63百万円となりました。固定負債のその他に含まれる長期リース債務の増加(12億58百万円)及び長期繰延税金負債の増加(15億27百万円)等の要因によるものです。

この結果、連結負債合計は464億18百万円となり、前連結会計年度末より56億63百万円増加しました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末より68億82百万円増加し1,539億32百万円となりました。その他有価証券評価差額金の増加(26億80百万円)、為替換算調整勘定の増加(26億76百万円)、利益剰余金の増加(3億55百万円)、ならびに少数株主持分の増加(16億86百万円)等の要因によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の通期業績予想につきましては、平成25年9月9日に公表しました業績予想からの修正はありません。

世界経済は、比較的好調な米国の牽引による回復が期待されますが、米国では財政問題と量的金融緩和縮小のスケジュールなど政策面で不透明感が高まっており、経済への影響が懸念されるところであります。鉄鋼市場は、中国鉄鋼業の供給過剰に歯止めのかかる兆しが見られず、増産の影響から鉄鋼原材料の価格は再び上昇傾向にあり、海外鉄鋼市場は厳しい環境で推移するものと予想されます。

国内経済は着実な回復基調にあり、鉄鋼市場は景気と歩調を合わせた需要の回復が期待されますが、鉄鋼製品の国内価格はアジア市況の影響を強く受けるとともに、鉄鋼原材料や電気・燃料価格の上昇など損益への具体的影響が現れております。

このような状況の中、当社グループとしましては、国内営業基盤の強化と、海外ではY S S社及びP P T社の早期軌道乗せに引き続き取り組んでまいります。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,406	24,571
受取手形及び売掛金	34,897	38,202
有価証券	8,813	7,103
商品及び製品	12,213	13,020
仕掛品	3,215	3,628
原材料及び貯蔵品	8,492	10,839
その他	5,893	7,774
貸倒引当金	△223	△210
流動資産合計	100,708	104,930
固定資産		
有形固定資産		
土地	18,792	19,053
その他	32,839	37,619
有形固定資産合計	51,631	56,673
無形固定資産	812	922
投資その他の資産		
投資有価証券	31,668	34,825
その他	3,005	3,021
貸倒引当金	△22	△22
投資その他の資産合計	34,650	37,823
固定資産合計	87,095	95,420
資産合計	187,804	200,351
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,563	18,444
未払法人税等	1,309	1,039
賞与引当金	824	819
その他	8,826	8,851
流動負債合計	26,524	29,154
固定負債		
退職給付引当金	7,462	7,732
役員退職慰労引当金	85	64
負ののれん	17	12
その他	6,664	9,454
固定負債合計	14,230	17,263
負債合計	40,754	46,418

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,220	23,220
資本剰余金	23,496	23,496
利益剰余金	92,135	92,490
自己株式	△10,132	△10,632
株主資本合計	128,720	128,575
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,567	9,248
繰延ヘッジ損益	△0	—
土地再評価差額金	1,557	1,545
為替換算調整勘定	△3,431	△754
その他の包括利益累計額合計	4,693	10,039
新株予約権	134	129
少数株主持分	13,501	15,187
純資産合計	147,049	153,932
負債純資産合計	187,804	200,351

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	72,163	75,486
売上原価	62,290	63,953
売上総利益	9,872	11,532
販売費及び一般管理費	7,300	8,265
営業利益	2,571	3,267
営業外収益		
受取利息	103	138
受取配当金	283	277
投資有価証券売却益	—	299
負ののれん償却額	9	4
持分法による投資利益	59	91
その他	269	439
営業外収益合計	725	1,250
営業外費用		
支払利息	27	50
為替差損	3	—
海外外向費用	74	111
その他	108	57
営業外費用合計	215	220
経常利益	3,082	4,297
特別利益		
固定資産売却益	1	—
負ののれん発生益	—	33
その他	—	2
特別利益合計	1	36
特別損失		
投資有価証券評価損	2,142	329
災害による損失	1	1,466
その他	47	135
特別損失合計	2,190	1,930
税金等調整前四半期純利益	893	2,402
法人税、住民税及び事業税	189	1,038
法人税等調整額	108	△267
法人税等合計	298	771
少数株主損益調整前四半期純利益	594	1,631
少数株主利益	228	499
四半期純利益	366	1,132

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	594	1,631
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△209	2,698
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	667	4,060
土地再評価差額金	△4	—
持分法適用会社に対する持分相当額	△9	19
その他の包括利益合計	444	6,779
四半期包括利益	1,038	8,411
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	504	6,490
少数株主に係る四半期包括利益	534	1,920

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鋼板関連 事業	ロール 事業	グレーチ ング事業	不動産 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	66,936	1,955	1,472	490	70,855	1,307	72,163	—	72,163
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	202	202	1,348	1,550	△1,550	—
計	66,936	1,955	1,472	692	71,058	2,655	73,713	△1,550	72,163
セグメント利益又は 損失(△)	2,779	△57	△8	362	3,076	35	3,111	△539	2,571

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、運輸・倉庫業、ゴルフ場、機械プラント等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額には、配賦不能費用△540百万円、セグメント間取引消去0百万円を含んでおります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鋼板関連 事業	ロール 事業	グレーチ ング事業	不動産 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	70,657	1,305	1,592	409	73,964	1,521	75,486	—	75,486
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	221	221	1,549	1,770	△1,770	—
計	70,657	1,305	1,592	631	74,186	3,070	77,257	△1,770	75,486
セグメント利益又は 損失(△)	3,708	△425	23	307	3,613	196	3,809	△542	3,267

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、運輸・倉庫業、ゴルフ場、機械プラント、売電(太陽光発電)等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額には、配賦不能費用△543百万円、セグメント間取引消去0百万円を含んでおります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

平成26年3月期 第2四半期累計期間決算短信(連結)の補足資料

平成25年11月6日
株式会社淀川製鋼所

1. 業績推移

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	経常利益率	当期純利益	
H21年度	132,418	2,001	2,846	2.1%	△ 3,296	
H22年度	144,773	4,223	4,749	3.3%	1,727	
H23年度	152,777	6,413	7,508	4.9%	3,844	
H24年度	上	72,163	2,571	3,082	4.3%	366
	下	68,920	1,057	1,864	2.7%	2,150
		141,084	3,629	4,946	3.5%	2,516
H25年度 通期予想	上	75,486	3,267	4,297	5.7%	1,132
	下	82,514	2,933	2,803	3.4%	1,968
		158,000	6,200	7,100	4.5%	3,100

2. 貸借対照表関係

	H24年度	H25年度 通期予想		
		上期実績	下期予想	計
(1)設備投資と償却費				
設備投資(工事へ-ス)	9,307	4,863	4,337	9,200
主な設備投資	Y S S社 めっき設備・カー設備他 新設(中国安徽省) P P T社 カー設備新設(タイ フォンブリ) ヨドコウ興発(株) 泉大津ゴルフ練習場 リニューアル(泉大津市) 株淀川製鋼所 4号カー電気品他更新(市川市)	Y S S社 めっき設備・カー設備他 新設(中国安徽省) 株淀川製鋼所 エクスピア生産設備(大阪市) カトソー発電設備(泉大津市)		
有形固定資産償却費	3,914	1,885	2,415	4,300
(2)有利子負債残高	0	1,396	2,500	

3. 損益計算書関係

	H24年度	H25年度 通期予想		
		上期実績	下期予想	計
(1)金融収支				
純金利受取額	656	365	340	705
受取利息・配当金	713	416	404	820
支払利息	57	51	64	115
(2)従業員数と人件費				
従業員数	2,290	2,493	2,480	人
人件費	12,967	6,626	6,774	13,400 百万円

4. 売上高関係

	H24年度	H25年度 通期予想		
		上期実績	下期予想	計
個別売上高(淀川製鋼所)	93,097	49,063	51,937	101,000
連結売上高	141,084	75,486	82,514	158,000

5. 海外売上高

	H24年度	H25年度 通期予想			割合
		上期実績	下期予想	計	
株淀川製鋼所	5,791	2,378	3,422	5,800	百万円
その他	41,762	23,466	27,234	50,700	
計	47,553	25,844	30,656	56,500	
アジア	29,738	17,442	22,458	39,900	70.9%
北米	13,170	5,876	4,824	10,700	18.9%
アフリカ	3,071	1,708	1,892	3,600	6.3%
その他	1,572	818	1,482	2,300	3.9%
	47,553	25,844	30,656	56,500	100.0%

平成26年3月期 個別第2四半期累計期間財務諸表の概要

平成25年11月6日
株式会社淀川製鋼所

1. 業績推移

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	経常利益率	当期純利益	1株当たり配当金(円)			
						中間	期末	通期	
H21年度	86,857	1,646	3,119	3.6%	△3,040	5.0	5.0	10.0	
H22年度	91,256	3,292	4,097	4.5%	1,660	5.0	5.0	10.0	
H23年度	99,728	4,672	5,476	5.5%	3,069	5.0	5.0	10.0	
H24年度	上	46,154	1,842	2,867	6.2%	524	2.5	5.0	7.5
	下	46,943	1,069	1,893	4.0%	2,348			
		93,097	2,911	4,761	5.1%	2,873			
H25年度	上	49,063	2,035	3,260	6.6%	1,061	5.0	5.0	10.0
	下	51,937	2,865	2,840	5.5%	2,139			
通期予想		101,000	4,900	6,100	6.0%	3,200			

2. 貸借対照表関係

	H24年度	H25年度 通期予想		
		上期実績	下期予想	計
(1)設備投資と償却費				百万円
設備投資(工事ベース)	1,509	1,352	2,148	3,500
主な設備投資	4号カラー電気品他更新(市川市)	エクステリア生産設備(大阪市) メガソーラー発電設備(泉大津市)		
有形固定資産償却費	2,678	1,140	1,310	2,450
(2)有利子負債残高	2,090	2,090	2,090	

3. 損益計算書関係

	H24年度	H25年度 通期予想		
		上期実績	下期予想	計
(1)金融収支				百万円
純金利受取額	1,196	728	362	1,090
受取利息・配当金	1,251	758	392	1,150
支払利息	55	29	31	60
(2)従業員数と人件費				人
従業員数	1,247	1,269	1,228	
人件費	9,889	4,872	4,928	9,800

4. キャッシュフロー計算書関係

	H24年度上期	H25年度上期
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	3,427	163
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,413	△841
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,597	△1,298
IV. 現金及び現金同等物の増加額(減少額)	△583	△1,976
V. 現金及び現金同等物期首残高	23,706	21,939
VI. 現金及び現金同等物期末残高	23,122	19,962

5. 売上高関係

	H24年度		H25年度 通期予想				
	千トン	百万円	上期実績	下期予想	計	千トン 百万円	
(1)数量・金額							
鋼板関連事業	83,947		45,503	47,997		93,500	
〔鋼板業務	577	57,985]	[321	32,050	315	33,650	636 65,700]
(内、輸出	45	3,870)	(20	2,025	32	3,075	52 5,100)
〔建材業務	25,961]		[13,453	14,347		27,800]
ロール	6.7	3,528	2.6	1,303	2.5	1,347	5.1 2,650
グレーチング	12.6	3,324	6.1	1,581	7.5	1,969	13.6 3,550
不動産		1,193		569		531	
その他		1,104		105		95	
合計		93,097		49,063		51,937	101,000
(うち輸出		5,791)	(2,378		3,422	5,800)
(2)為替レート(US\$)		79.82		97.58		98.00	97.80 円